

プレイスメイキング推進事業 実施概要について

平成31年1月
佐久市役所建設部都市計画課

▽ 背景と目的

- ◇少子高齢化など社会情勢の変化を踏まえ、都市政策の主要課題は、既存のストックをどのように使いこなすか、すなわち「まちづくり」から「まちづかい」に移行してきています。
- ◇また、まちの活力を維持し、都市生活を豊かなものにするためには、民間団体をまちづくりの担い手として位置づけ、参画を誘導することに力点を置く必要があります。

このようなことから、市民との連携による“プレイスメイキング（居場所づくり）”の取組を通して、既存の公共施設等の利活用の幅を広げ、ポテンシャル（潜在的な力、可能性）を引き出すとともに、市民満足度の向上を目指します。

※プレイスメイキングとは…

公共施設等を活用した居心地の良い空間づくりを通して、都市生活を豊かなものとし、そこから生まれる賑わいや魅力がまちの価値を高めるという計画概念。

▽ 事業の進め方と当面の目標

- ◇プレイスメイキング的な活動を目的とした民間主体の取組を支えるために、ワークショップや社会実験などを通して、公共施設の使用にあたっての必要なルールづくりや規制緩和などの方策を検討する。
平成30年度は、公共施設の利用に関する「アイデア集」「できることリスト」のまとめと、社会実験の実施を目標とする。
- ◇具体的なイメージを持って検討を進めるため、当面、公共施設が集積する佐久平駅周辺を素材としてワークショップを進め、得られた知見をもって他エリアへの応用・拡大を目指す。
- ◇あくまでも既存ストックの活用を目的とするものであることから、大規模な施設整備を前提としない。

▽ 対象とした施設

- ◇佐久平駅前蓼科口広場
- ◇佐久平駅自由通路
- ◇ミレニアムパーク
- ◇プラザ佐久
- ◇市民交流ひろば



※佐久平駅前蓼科口広場



※市民交流ひろば

▽ 経緯の概要

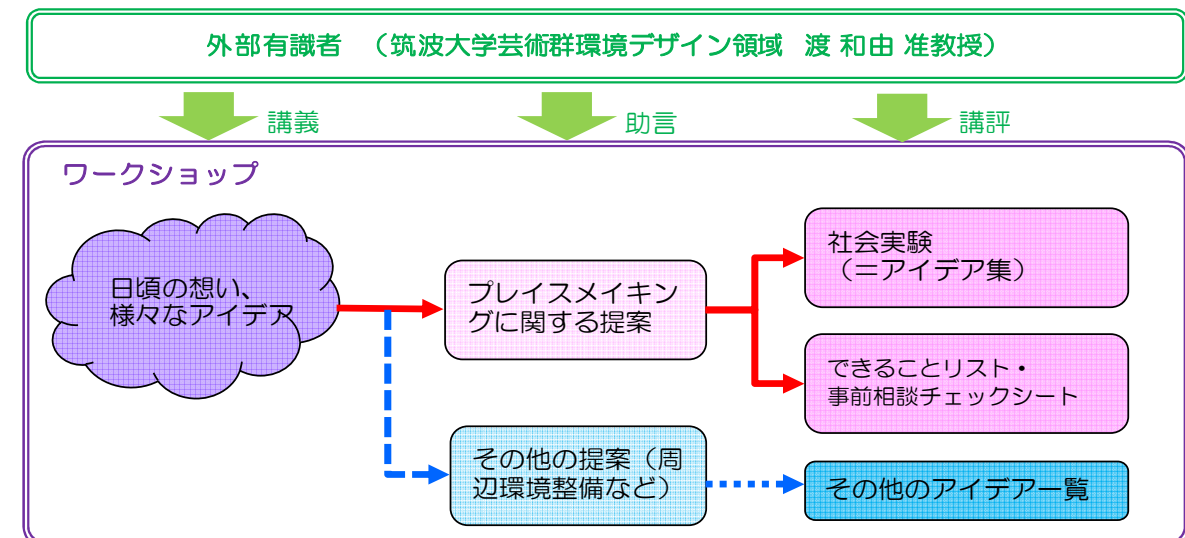
- ① 関係者との事前打合せ
- ② 広報やSNSによるワークショップへの参加者募集
- ③ 庁内関係部局、関係機関、周辺事業者への協力要請
- ④ ワークショップ 《内容：筑波大 渡准教授による講義、あるもの探し》 (6/10)
- ⑤ ワークショップ 《内容：アイデア出し》 (7/22)
- ⑥ ワークショップ 《内容：アイデアのブラッシュアップ》 (8/19)
- ⑦ 社会実験実行委員会 《内容：社会実験に向けた準備》 (9/5, 9/26, 10/17)
- ⑧ ワークショップ 《内容：社会実験、筑波大 渡准教授による講評》 (10/27)
- ⑨ 「アイデア集」「できることリスト」の作成、周辺環境整備に関する庁内検討
- ⑩ 「アイデア集」「できることリスト」の公表

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事前準備	①	② ---> ③ --->							
ワークショップ			④	⑤	⑥		⑧		
社会実験実行委員会						⑦ --->			
まとめ								⑨ --->	⑩

▽ ワークショップメンバー

- ◇佐久青年会議所、佐久商工会議所青年部、地元区、NPO法人さくのわ花物語、D39、JR佐久平駅、イオンモール佐久平店、佐久市子ども未来館、佐久平総合技術高等学校、佐久市振興公社、公募市民、市職員らにより構成（＝計56名）

▽ 意見集約のイメージ



▽ 平成30年度実施概要

① 社会実験「こちよいさく チャレンジプレイス」

- 1) 日 時：平成30年10月27日（土） 午前9時30分から午後2時まで
- 2) 会 場：市民交流ひろば会場、佐久平駅周辺会場（プラザ佐久、佐久平駅前蓼科口広場）
- 3) 実施内容：ワークショップにおいて出されたアイデアを基本に、実現可能な範囲で具現化。

i) 市民交流ひろば会場

寝ころびスペース、日除けエリア、心地よい音楽ライブ演奏、キッチンカー・物販エリア、外遊びチャレンジラボ、動物ふれあいコーナー

ii) 佐久平駅周辺会場（プラザ佐久、佐久平駅前蓼科口広場）

オープンカフェ、心地よい音楽ライブ演奏、心地よい椅子くつろぎエリア（ミニ図書館）、テーブルとイスの実験エリア、フリースペース（コワーキングスペース）

※ スタンプラリーにより両会場や各ブース間の往来を促した

4) 来場者数：1,264名 《推計値》

（うち 市民交流ひろば会場：1,076名、佐久平駅周辺会場：188名）

5) 来場者の分析と反応：アンケート回答数112件（来場者の8.9%）

- ・ 来場者は、30代と40代が多数を占める（69.3%）、また市内在住者が67.9%。
- ・ 滞在時間は、1時間から2時間が大多数（72.7%）。
- ・ 来てみた感想は、「とても居心地が良い」「まあまあ居心地が良い」を合わせると97.2%。
- ・ 社会実験により公共施設の印象が変わったかとの設問では、「変わった」「少し変わった」を合わせると67.3%。
- ・ 自由意見からは、日陰、ベンチ、店舗（飲食）に対するニーズが把握できるとともに、ゆったりとした空間づくりに対する期待が読み取れた。

6) 関連する取組：

- ・ 社会実験として取り組んだ内容については、各ブース毎に、「アイデアの概要」「備品・用具等」「条例・規則等の必要な手続き」「感想や反省点」等を纏めた調書を作成し、編集のうえ、『居心地の良い空間づくりアイデア集』として、ホームページ等で公表する。



② 社会実験「晴れた日は公園で Tea Time♪」

1) 日 時：平成30年10月6日（土）～ 28日（日）

2) 会 場：市民交流ひろば会場

3) 実施内容：

佐久平駅周辺のファーストフードチェーン等（スターバックスコーヒー、モスバーガー）にご協力いただき、公園での飲食の促し及びレジャーシートの貸し出しをしていただいた。

4) 利用件数：35件（うちスターバックス20件、モスバーガー15件）

5) 利用者の分析と反応：アンケート回答数10件（利用者の28.6%）

- ・利用者は、30代が30%、40代が70%、また市内在住者が60%。
- ・滞在時間は、1時間が60%。
- ・社会実験により公共施設の印象が変わったかとの設問では、「少し変わった」が60%、「あまりかわらない」が20%。
- ・自由意見からは、利用しやすい雰囲気づくりに対する要望が読み取れるとともに、日陰に対するニーズや、マナーに関する苦情等が把握できた。

6) 協力事業者の感想：

i) スターバックスコーヒージャパン

- ・カウンターに用意したチラシを気にしている人は多く、反応は良かった。しかし、期間が短く認知がなかったため、カウンターに来て知る人が多かった。
- ・春にやれば、反応が全然違うのではないか。
- ・取組の内容を聞かれることがあったが、HP等を見ても分かりずらく、主旨が明確に分かるようなものがあると良い。
- ・今回の取組は負担になることはなかった。

ii) モスバーガー

- ・天気が悪い日に来店いただいた方に勧めたところ、週末に再来店された方がいた。
- ・お店までレジャーシートとゴミを持ってきてくれた方がいたので、期間限定でゴミ箱等を用意すると良いと思う。
- ・春やGWにやってみても良いと思う。ミレニアムパークが利用できると（反応が）違う。
- ・HPはあまり見ていただけないため、（チラシ等）店内の目に付く場所にある方が良い。
- ・忙しいときに勧めることは難しかったが、負担にはならなかった。

③ 「できることリスト・事前相談チェックシート」

1) 概 要：

i) できることリスト

- ・ワークショップにおいて出されたアイデアを基本に、佐久平駅周辺の公共施設（市民交流ひろば、ミレニアムパーク、佐久平駅前蓼科口広場、佐久平駅自由通路、プラザ佐久、佐久平駅展望台）毎にできることを振り分け、リスト化したもの。
- ・リスト化にあたっては、様々な行為を「普段づかい」と、例規等に基づく「許可が必要なもの」とに分けて整理し、用途に応じた“できること”を例示することで、施設の利活用を促すことが目的。

ii) 事前相談チェックシート

- ・施設利用にあたっては、現状、施設毎の所管課において、各々例規等に定められた手続きを行っている状況があるが、事前相談段階の関わり方を共通化し、統一的な視点から指導・助言を行うとともに、行為者に対し居心地の良い空間づくり（プレイスメイキング）を促すことを目的に作成。
- ・一連の流れを可視化するためのフローチャートと、トラブル回避と義務等の履行を担保するための誓約書を添付。

④ その他のアイデア一覧

1) 概 要：

- ・ワークショップにおいて出されたアイデアのうち、周辺環境整備（施設整備含む）に係るアイデアについては、『その他のアイデア一覧』として纏め、『居心地の良い空間づくりアイデア集』に添付。

▽ 平成31年度以降の事業展開について

◇メンバーを再編しながら、ワークショップを継続し、自由な発想に基づくアイデア出しと、これに基づく社会実験を複数回実施し、知見の蓄積と一般化による公共空間の利活用の促進、他のエリアへの拡大・応用を目指す。

◇得られた知見を庁内で共有し、普段づかいの中でプレイスメイキングの要素を取り込んでいただくとともに、新たな開発や公共施設の整備にあたっては、プレイスメイキングの視点を加えて検討いただけるよう促す。